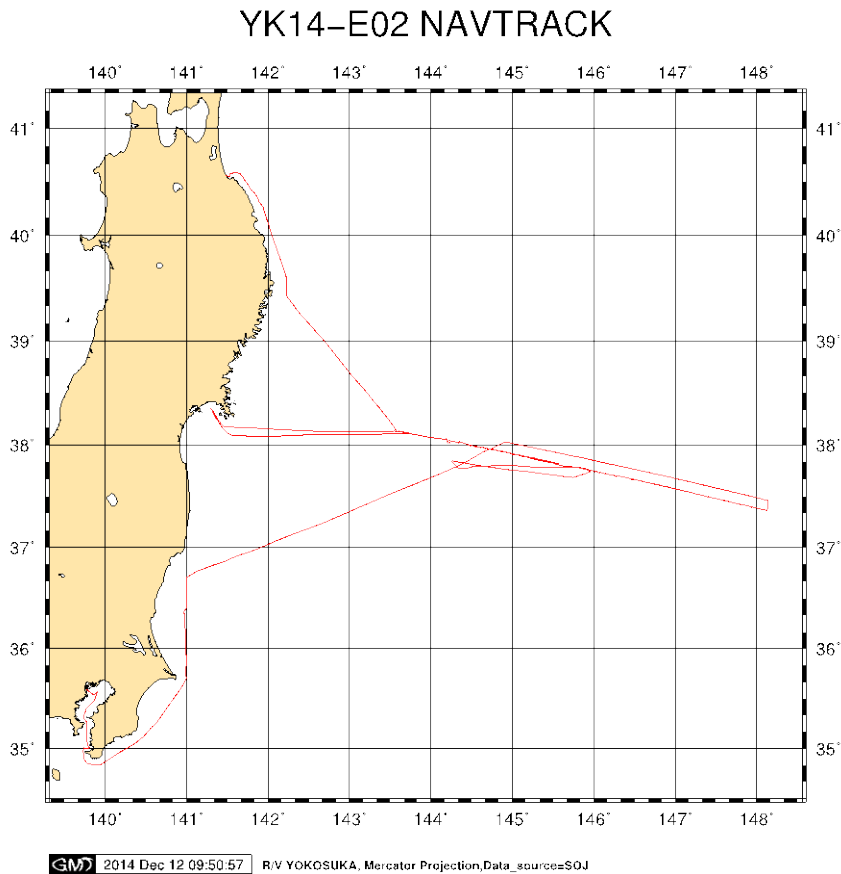


提出日：2016年4月18日

クルーズサマリー

1. 航海情報

- (1) 航海番号、船舶名：YK14-E02, 「よこすか」
- (2) 航海名称：平成26年度 所内利用「海溝型巨大地震・巨大津波：アウターライズ域での大規模構造調査」(OBS設置、回収)
- (3) 研究課題名：「海溝型巨大地震・巨大津波：実態解明に向けた地質・地球物理調査研究
3.アウターライズ域での大規模構造調査」
- (4) 首席研究者：海宝由佳[JAMSTEC]
- (5) 課題代表研究者：小平秀一[JAMSTEC]
- (6) 航海期間、寄港地：2014/11/30-12/12, 八戸 - 東京
- (7) 調査海域名：日本海溝
- (8) 海域図：



2. 研究参加者

- (1) 首席研究者 [所属機関名]：海宝 由佳 [JAMSTEC]
- (2) 課題代表研究者 [所属機関]：小平 秀一 [JAMSTEC]
- (3) 研究参加者リスト：
 - 小平 秀一 [JAMSTEC]
 - 尾鼻 浩一郎 [JAMSTEC]

高橋 努 [JAMSTEC]
山本 揚二郎 [JAMSTEC]
高橋 成実 [JAMSTEC]
藤江 剛 [JAMSTEC]
仲西 理子 [JAMSTEC]
野 徹雄 [JAMSTEC]
三浦 誠一 [JAMSTEC]
海宝 由佳 [JAMSTEC]
中村 恭之 [JAMSTEC]
佐藤 壮 [JAMSTEC]
山下 幹也 [JAMSTEC]
井和丸 光 [JAMSTEC]
Ingo Grevemeyer [GEOMAR]
Anke Dannowski [GEOMAR]
Martin Thorwart [GEOMAR]
Jason Morgan [Royal Holloway University of London Department of Earth Sciences]
セチキン オズグル チタク [JAMSTEC]

3. 実施内容：

(1) 概要：

本調査航海 YK14-E02 では、東北地方太平洋沖地震発生域北部の海溝軸付近及び震源域沖側に隣接するアウターライズ海域において、KR14-E02 航海と連携し、海底地震計(OBS)を用いた地震波構造探査を実施し、太平洋プレートの沈み込みに関する構造イメージを把握した。

本航海では OBS の追加設置と、KR14-E02 で設置された OBS の回収を行った。

本調査は、海溝型巨大地震や隣接する海域で発生するアウターライズ地震、そしてそれらにより惹起される可能性がある大津波の発生メカニズム等を解明し、防災・減災に資する情報を収集するために、震源域及びそれに隣接する領域の正確な地殻構造や地震活動の把握を目指すものである。

(2) 調査項目：

(i)海底地震計(OBS)の設置、位置決め

先行する航海 KR14-E02 にて未設置の点1点に、OBS1台を設置し、位置決めを行った。

(ii)海底地震計(OBS)の位置決め、回収

KR14-E02 と連携し、OBS の位置決めと回収を行った。本航海では、53 台の回収を行った。

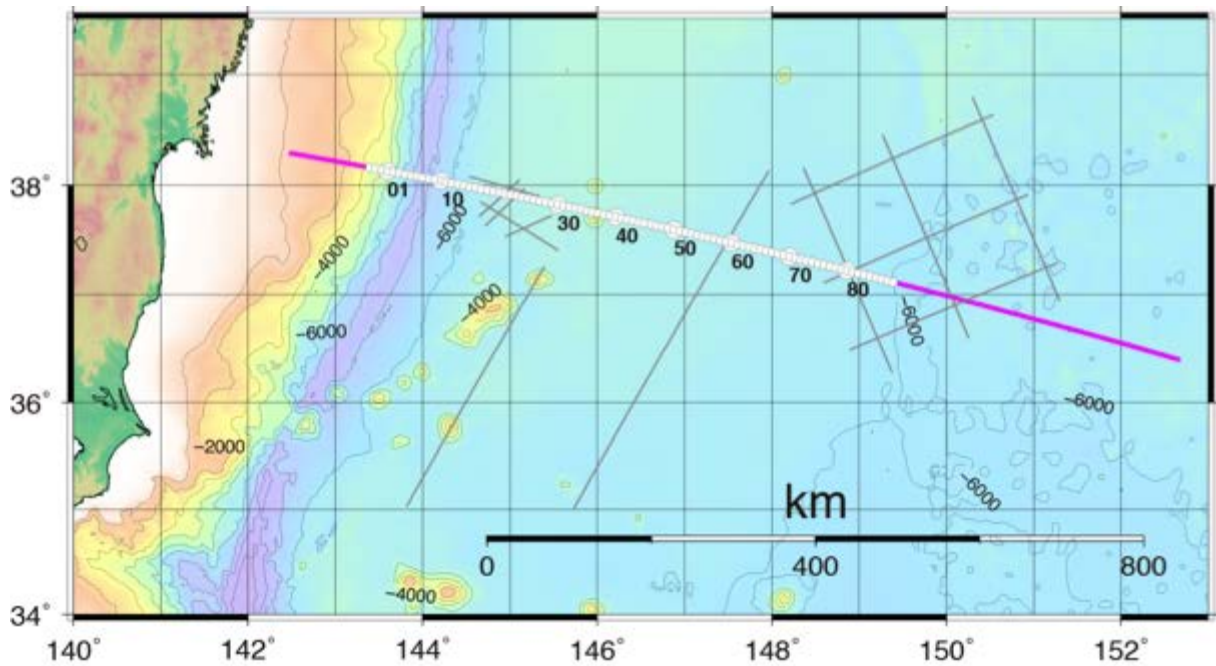
(iii)海底地形調査

KR14-E02 と連携し、測線に沿う海底地形データの取得をした。

(3) 調査日程:

| 日付 | | 記事 |
|------------|---|----------------------------|
| 2014/11/30 | 日 | 八戸港出港、回航、OBS 設置 1 台/回収 2 台 |
| 2014/12/1 | 月 | 石巻湾にて荒天待機 |
| 2014/12/2 | 火 | 石巻湾にて荒天待機 |
| 2014/12/3 | 水 | 石巻湾にて荒天待機 |
| 2014/12/4 | 木 | 海域向け回航、OBS 回収 5 台 |
| 2014/12/5 | 金 | 荒天のため洋上待機、OBS 回収 4 台 |
| 2014/12/6 | 土 | 荒天のため洋上待機、OBS 回収 8 台 |
| 2014/12/7 | 日 | 荒天のため洋上待機 |
| 2014/12/8 | 月 | OBS 回収 21 台 |
| 2014/12/9 | 火 | OBS13 台回収 (回収完了)、地形調査 |
| 2014/12/10 | 水 | 海底地形調査、回航 |
| 2014/12/11 | 木 | 回航 |
| 2014/12/12 | 金 | 東京港大井埠頭着 |

(4) 調査海域図



シンボルは、観測全体での OBS 位置を示す。